

10【概要】石岡市産業系施設個別施設計画

■基本的な考え方

- ・石岡市やさと農産物直売所は存続する。

石岡市やさと農産物直売所は、農産物等の販路拡大による農業の振興と活性化を促進するとともに、都市との交流を深め魅力あるまちづくりを図ることを目的として設置されている。

(石岡市やさと農産物直売条例(平成18年石岡市条例第37号))

建物は平成19年度築であり劣化状況には問題がなく、また、施設の売上は平成24年度からの5年間で1.5倍に増加するなど利用者数も増加し順調に推移していることから、目的達成のため存続する。

ただし、現在の立地はフラワーパーク駐車場内にあり、アクセスも良く、付近には観光施設が存在することから、来訪者が立ち寄りやすい配置となっている。

- ・施設総量(延床面積)の変動なし。

1. 対象施設

	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1	やさと農産物直売所	下青柳1361番地1	259.15	平成19	W造	
合計			259.15			

2. 計画期間

2020年度から2029年度までの10年間。

3. 対策の優先順位の考え方

優先順位①利用者の安全安心を確保するため、施設の劣化等に対する施設修繕を行う。

優先順位②環境対応やいっそうのバリアフリー化について対応する。

4. 個別施設の状態等

安全性：耐震安全性は確保されている。

現状、劣化状況に問題はないが、環境対応やバリアフリー化が不十分である。

5. 対策内容と実施時期 下記工程表のとおり。

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
事業概要									中規模改修 20,732千円		

6. 対策費用

更新単価(産業系施設=80千円)×施設面積(259.15㎡) ≒ 20,732千円

※「石岡市公共施設白書」のコスト試算で用いた地域総合整備財団の更新費用試算ソフトの共通試算条件の更新単価(大規模改修費用の単価)及び計算式(下記参照)を使用した10年間の更新費用。ただし、健全化調査や設計費用等は含まない。

7. 今後の対応方針

- ・2027年に中規模改修を行い、施設の原状回復を行う。
- ・中規模改修時に照明設備のLED化等、環境対応も行う。
- ・さらなるバリアフリー化を目指す。